

第 1 回小児脳腫瘍カンファレンス プログラム

開催日：2023 年 3 月 11 日（土）14：00～18：05

開催方法：Zoom によるライブ配信

開会の辞：当番世話人：杏林大学医学部 脳神経外科 教授 永根 基雄

第 1 部 症例検討・一般口演

1. グリオーマ

座長：国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科
渡辺 祐子

演題 1) 14：00 「類似した画像所見・病理組織像を呈する片側小脳半球 Pediatric-type diffuse low-grade glioma の三例」

北里大学医学部 脳神経外科 犬飼 円

演題 2) 14：12 「治療方針に難渋している脳幹毛様細胞性星細胞腫の一例」

旭川医科大学 脳神経外科学講座 木下 学

演題 3) 14：24 「BRAF V600E 変異を有する脊髄播種を伴う小児悪性神経膠腫に対して BRAF 阻害剤が著効した二例」

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 川口 雄生

座長：広島大学病院 脳神経外科
山崎 文之

演題 4) 14：36 「髄芽腫に対する集学的治療から 12 年後に発症した放射線誘発髄芽腫の一例」

自治医科大学附属病院 放射線治療科 福田 友紀子

演題 5) 14：48 「小児高悪性度膠腫に対する NovoTTF-100A の安全性確認試験」

～初期 3 症例の安全性・実行可能性に関する評価～

都立小児総合医療センター 検査科／血液・腫瘍科 牧本 敦

演題 6) 15：00 「小児視床グリオーマに対する外科療法の挑戦」

山梨大学医学部附属病院 脳神経外科 埴原 光人

休憩 15：12～15：17

2. GCT/その他の腫瘍

座長：大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科
山崎 夏維

演題 7) 15：17 「当院における CNS-GCT に対する摘出中による病理診断と腫瘍マーカーとの関連性の検討」

横浜市立大学附属病院 脳神経外科 福山 龍太郎

演題 8) 15：29 「再発・難治性小児中枢神経系胎児性腫瘍に対する Bev、CPT-11、TMZ 併用療法の有効性と安全性について」

名古屋大学 脳神経外科 芝 良樹

演題 9) 15 : 41 「多段階での手術・化学療法で治療した乳児 atypical choroid plexus papilloma (APP) の一例」
北海道大学 医学研究院脳神経外科 山口 秀

演題 10) 15 : 53 「腫瘍内出血で発症した小児四丘体部 rosette-forming glioneural tumor の一例」
岐阜大学 脳神経外科 大江 直行

休憩 16 : 05~16 : 10

3. ATRT 系腫瘍

座長：京都大学 小児科
磯部 清孝

演題 11) 16 : 10 「CNS ganglioneuroblastoma の病理像を呈したが AT/RT と同様のメチル化プロファイルと
SMARCA4 変異を認めた胎児性腫瘍の一例」
埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍科 福岡 講平

演題 12) 16 : 22 「卵巣組織凍結保存を施行した AT/RT の乳児例」
広島大学病院 脳神経外科 山崎 文之

演題 13) 16 : 34 「放射線照射を含む集学的治療を経て多彩な中枢神経合併症を生じた乳児期発症 AT/RT 再発女児
例」
兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科 西尾 周朗

演題 14) 16 : 46 「脳腫瘍・腎腫瘍・肺腫瘍を発症したが長期生存が得られている Rhabdoid tumor predisposition
syndrome(RTPS)の一例」
大阪市立総合医療センター 小児医療センター 小児血液腫瘍科 萱谷 理秀

休憩 16 : 58~17 : 05

第2部：特別講演 17 : 05-18 : 05

座長：杏林大学医学部 脳神経外科 教授
永根 基雄

演者：国立成育医療研究センター 血液腫瘍科/長期フォローアップ科 医長

清谷 知賀子先生

ご演題：「小児脳腫瘍の晩期合併症と長期フォローアップを考える」

■問い合わせ先：関東小児脳腫瘍カンファレンス 事務局

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 鈴木智成 (Email: ksyouni@saitama-med.ac.jp) TEL:042-984-4111 (代)